

ANA VISION 2020

第75回 定時株主総会決議ご通知 第70期のご報告(2019年4月1日～2020年3月31日)

■新型コロナウイルス感染症の対策について



株 主 各 位

2020年6月29日

東京都港区東新橋一丁目5番2号
ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長 片野坂 真哉

第75回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日開催の当社第75回定時株主総会におきまして、下記の通り報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

報告事項

1. 第70期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第70期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は上記報告事項の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案

取締役10名選任の件

本件は原案通り承認可決され、取締役に伊東 信一郎、片野坂 真哉、伊東 裕、高田 直人、福澤 一郎、芝田 浩二、平子 裕志、山本 亜土、小林 いずみ、勝 栄二郎の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第2号議案

監査役2名選任の件

本件は原案通り承認可決され、監査役に長峯 豊之、松尾 新吾の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

当期の期末配当金につきましては、誠に申し訳ございませんが無配とさせていただきます。当社といたしましては、業績の早期回復に全力を尽くす所存でございます。

困難を乗り越えるべく、あらゆる手段を尽くしてまいります



ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長

片野坂 真哉

2020年6月

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、生活面や事業面で甚大な影響を受けておられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

2020年3月期の業績は、第3四半期までは概ね順調に推移していましたが、第4四半期に入り、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による、世界各国での入国・渡航規制や国内での外出自粛要請により大きな影響を受け、3月には航空事業において、国際線、国内線共に旅客需要が激減するという、かつてない事態となりました。この結果、前期に比べ大幅な減収・減益となりました。このような当社グループを取り巻く極めて厳しい事業環境に鑑み、期末配当につきましては誠に遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。

人々の行動が大幅に制限されるという未曾有の事態は、日本経済そして世界経済に甚大な影響を与えております。当社グループといたしましては、新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、あらゆる分野でコスト削減を進めてまいります。また、金融機関から継続的な資金調達等を行い、グループ全体の手元流動性を確保していく所存であります。

依然として新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、2021年3月期の業績を見通すことは極めて難しい状況にありますが、影響の長期化も視野に入れ、あらゆる手段を尽くして、この困難を乗り越えてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の対策について

ANAグループでは、お客様や当社グループ・協力会社の従業員の安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、直面している喫緊の課題に取り組み、この難局を乗り越えていきます。

即効性のある収支改善策の実行

■航空需要急減に対応した運航規模の抑制

	2020年2月～5月における状況	当社グループの対応※1
ANA国際線旅客	世界各国における入国・渡航規制の強化	運航規模を極力抑制 (座席キロ※2を4月、5月共に8割以上削減)
ANA国内線旅客	日本政府による緊急事態宣言 各自治体からの移動自粛要請	運航規模を機動的に抑制 交通インフラとしての機能は維持 (座席キロ※2を4月は6割削減、5月は8割以上削減)
ANA国際線貨物	航空貨物市場における供給量の大幅な減少	臨時便の設定、大型貨物専用機の活用 緊急物資等の輸送を実施
Peach	国際線・国内線共にレジャー需要が大幅に低迷	路線ごとの需要動向に応じた早期減便 (国際線を全便運休)

※2 座席キロ=有効座席数×各区間距離(キロメートル)

■人員・サービス体制の適正化

- 一時帰休制度の導入
客室乗務員や地上職を対象に4月から実施
- 空港運営体制の見直し
運航便の減少に伴い一部施設を閉鎖し、業務を集約化

■手元流動性の確保

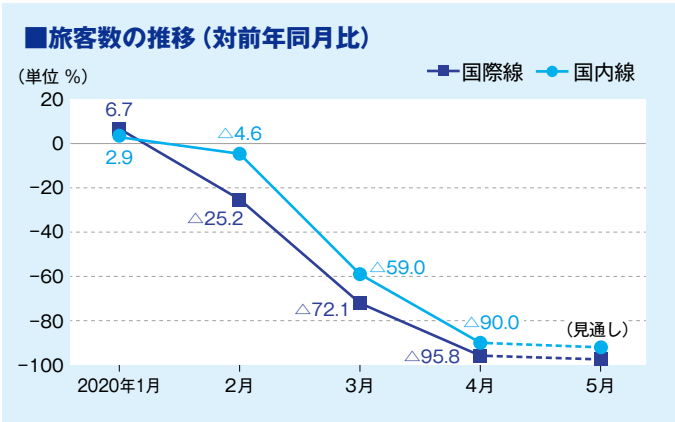
- 民間金融機関および日本政策投資銀行からの借り入れの実施(計5,350億円規模)
- 機動的に資金を確保するためのコミットメントラインの追加設定(既存分と合わせて5,000億円)
- 航空機受領の後ろ倒し、IT投資の先送り等による設備投資の抑制

■公租公課の減免要請等

- 空港使用料や航空燃料税等の減免、支払い猶予を航空業界として要請

■その他の緊急コスト削減策

- 役員報酬・管理職賃金・従業員一時金の減額
- 海外委託整備の内製化等による外注費の削減
- 管理可能費の抑制



お客様により安心してご搭乗いただくために

ANAグループは、空港やラウンジ、機内等の清潔・衛生的な環境づくりや機内の換気の徹底をお約束します。その対策の一部をご紹介します。



ANAグループは大切なお客様とともに感染予防対策に取り組んでまいります。

機内での対策

■機内の空気を3分ごとに換気

航空機は従来より、上空のきれいな空気を取り込み、約3分で機内の全ての空気を入れ替えています。また、高性能フィルター(HEPAフィルター※3)を全機種に搭載)により機内を循環する空気を浄化しています。このため、機内での感染の可能性は低いとされています。

※3 HEPAフィルターは、病院の手術室の空調設備にも使用されているフィルターです。

■機内の消毒の徹底※1

国際線は毎便、国内線は毎日の夜間機内清掃時に、テーブル、ひじ掛け、座席テレビ画面やコントローラー等の座席周り、トイレのドアノブ等、お客様の手が触れる部分をアルコール消毒しております。

■客室乗務員のマスク・手袋着用※1

客室乗務員はマスクを着用し、お食事・お飲み物のサービス時には手袋を着用しております。

空港での対策

■地上係員のマスク・フェイスシールドの着用等※1

地上係員はマスク、一部業務ではフェイスシールドを着用し、チェックインカウンターにはビニールカーテンを設置しております。

- お願い
- ・お客様におかれましても、空港・機内でのマスクの着用をお願いいたします。
 - ・インターネットでのご搭乗手続きや空港での自動チェックイン機、自動手荷物預け機等もご活用ください。

■客室に医療関連物資を搭載して輸送を実施

ANAは4月22日より、日本の航空会社として初めてとなる旅客機の客室を使用した貨物の輸送を実施しました。世界的な国際線旅客便の大幅運休・減便により、不足した貨物輸送スペースを捻出し、医療関連物資(マスク、防護服、検査キット等)をはじめとした輸送ニーズに対応しました。



客席に搭載した医療関連物資

■武漢からのチャーター便を運航

ANAは日本政府の要請を受け中国・武漢からの帰国希望者を輸送するため、武漢ー羽田間のチャーター便を運航しました。1月28日以降、計5回にわたり、約900名の方を輸送しました。



武漢からの帰国希望者を輸送したボーイング767-300ER型機

※1 6月8日現在の情報です。状況により変更となる場合がございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により 減収・減益に

A 売上高、営業費用

新型コロナウイルス感染症の影響により売上高は1兆9,742億円に減少。運航規模の抑制を行うも2020年の首都圏空港発着枠拡大に向けた人材・設備投資に伴う先行費用の増加もあり、営業費用は1兆9,134億円に増加。

B 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益は608億円、経常利益は593億円となり減益。親会社株主に帰属する当期純利益は、航空機受領遅延やエンジン不具合の補償金計上の一方で、Peachに係るのれん減損等により276億円となり減益。

C 資産

新型コロナウイルス感染症の影響による予約数減少と払い戻しの増加等により、前期末から1,269億円減少。

D 負債、有利子負債残高

負債は、航空運賃等の前受金である発売未決済の減少等により、前期末から865億円減少。有利子負債は、社債の発行等で資金調達を行い8,428億円に増加。

E 自己資本、自己資本比率

自己資本は1兆610億円に減少。自己資本比率は41.4%に。

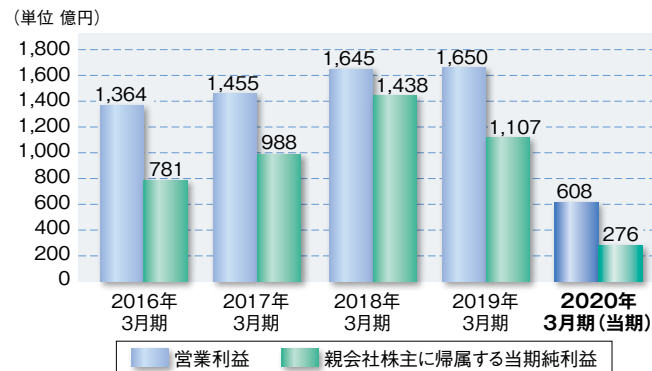
F 設備投資

航空機の取得などで3,513億円の設備投資を実施。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 億円)	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,961	1,301	△ 1,659	△ 56.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,086	△ 2,302	784	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 464	238	703	—
現金及び現金同等物期末残高	2,118	1,359	△ 759	△ 35.8
減価償却費	1,595	1,757	161	10.2
F 設備投資(固定資産のみ)	3,758	3,513	△ 245	△ 6.5

●営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益



●連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(単位 億円)	前期	当期	増減	前期比増減率(%)
【連結損益計算書】				
A 売上高	20,583	19,742	△ 840	△ 4.1
営業費用	18,932	19,134	201	1.1
営業利益	1,650	608	△ 1,042	△ 63.2
営業外収益	165	186	20	12.4
営業外費用	249	201	△ 48	△ 19.4
経常利益	1,566	593	△ 973	△ 62.1
E 特別利益	68	192	124	182.6
特別損失	94	271	176	186.3
税金等調整前当期純利益	1,540	515	△ 1,025	△ 66.6
法人税等	421	255	△ 166	△ 39.4
当期純利益	1,118	259	△ 859	△ 76.8
非支配株主に帰属する当期純利益	10	△ 17	△ 27	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,107	276	△ 831	△ 75.0
(EBITDA) ※1	(3,245)	(2,365)	(△ 880)	(△ 27.1)
【連結包括利益計算書】				
当期純利益	1,118	259	△ 859	△ 76.8
その他の包括利益	297	△ 406	△ 704	—
包括利益	1,416	△ 147	△ 1,563	—

※1 EBITDA＝営業利益＋減価償却費

※金額は表示単位未満の端数を切り捨てています。

※前期は2018年4月1日～2019年3月31日、
当期は2019年4月1日～2020年3月31日です。

※前期末は2019年3月31日現在、当期末は2020年3月31日現在です。

●連結貸借対照表

(単位 億円)	前期末	当期末	増減
資産の部			
流動資産	7,002	5,711	△ 1,290
現金及び預金	683	1,094	411
受取手形及び営業未収入金	1,806	988	△ 818
有価証券	2,253	1,292	△ 961
貯蔵品	484	538	53
その他	1,774	1,798	23
固定資産	19,863	19,881	17
有形固定資産	15,470	15,803	332
建物及び構築物	972	1,279	307
航空機	10,626	11,575	949
土地	542	538	△ 3
建設仮勘定	2,866	1,800	△ 1,066
その他	462	608	145
無形固定資産	1,551	1,255	△ 296
投資その他の資産	2,841	2,823	△ 18
投資有価証券	1,591	1,456	△ 135
繰延税金資産	853	998	145
その他	396	368	△ 27
繰延資産	5	8	3
C 資産合計	26,871	25,601	△ 1,269

●総資産、自己資本※2、自己資本比率



	前期末	当期末	増減※5
負債の部			
流動負債	6,859	5,305	△ 1,553
営業未払金	2,236	1,858	△ 377
1年内返済予定の長期借入金	778	840	61
1年内償還予定の社債	300	200	△ 100
その他	3,543	2,405	△ 1,137
固定負債	8,918	9,607	688
社債	2,550	3,050	500
長期借入金	4,068	4,169	100
退職給付に係る負債	1,582	1,633	51
その他	718	754	36
負債合計	15,778	14,912	△ 865
D(有利子負債残高) ※3	(7,886)	(8,428)	(542)
(D/Eレシオ(倍)) ※4	(0.7)	(0.8)	(0.1)
純資産の部			
株主資本	10,666	10,686	20
資本金	3,187	3,187	—
資本剰余金	2,584	2,584	0
利益剰余金	5,484	5,508	24
自己株式	△ 590	△ 594	△ 4
その他の包括利益累計額	327	△ 76	△ 404
その他有価証券評価差額金	376	221	△ 155
繰延ヘッジ損益	106	△ 145	△ 252
その他	△ 154	△ 151	3
非支配株主持分	99	78	△ 20
純資産合計	11,093	10,688	△ 404
E(自己資本) ※2	(10,994)	(10,610)	(△ 383)
(自己資本比率(％))	(40.9)	(41.4)	(0.5)
負債純資産合計	26,871	25,601	△ 1,269

※2 自己資本は純資産合計から非支配株主持分を控除しています。

※3 有利子負債残高にはオフバランスリース負債は含んでいません。

※4 D/Eレシオ＝有利子負債残高÷自己資本

※5 自己資本比率はポイントです。

連結対象会社の状況(2020年3月31日現在)

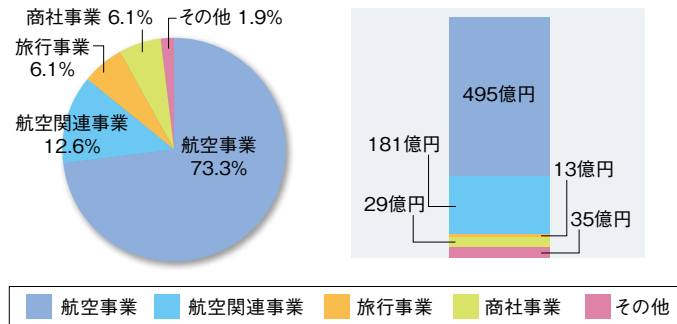
- ・連結子会社 62社(2社増、2社減)
- ・持分法適用会社 16社(変更なし)

セグメント別の概況

2019年4月1日～2020年3月31日

●売上高構成比

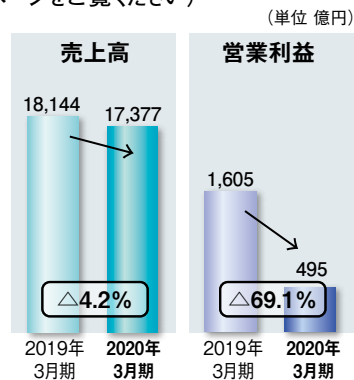
●営業利益



●売上高と営業利益

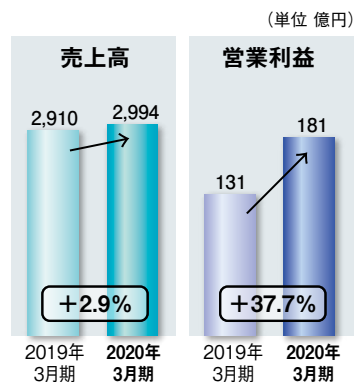
■航空事業 (詳細は右ページをご覧ください)

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、第4四半期に需要が急減し、減収。
- 運航規模を抑制し費用の削減を行うが、首都圏空港発着枠拡大に備えた機材費等が増加。
- 英国スカイトラックス社から8年連続で最高評価の5スターに認定。



■航空関連事業

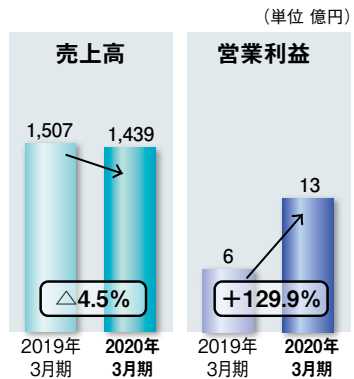
- 関西空港、中部空港での空港地上支援業務の受託が増加。
- 沖縄で本格的な事業展開を開始した航空機整備会社の「MRO Japan」が連結子会社に加わる。



※売上高・営業利益にはセグメント間の内部取引を含んでいます。
 ※金額、数量は、表示単位未満の端数を切り捨てています。
 ※前期は2018年4月1日～2019年3月31日、当期は2019年4月1日～2020年3月31日です。
 ※利用率の増減率(%)は、前期差(ポイント)を示しています。

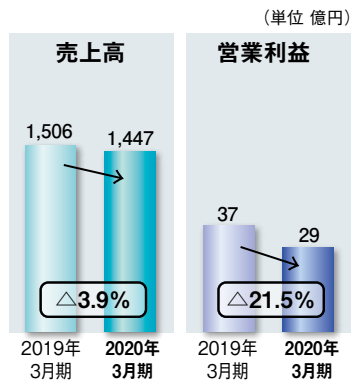
■旅行事業

- 国内旅行、海外旅行共に、第3四半期まではインターネット販売商品の集客が好調。
- 第4四半期に新型コロナウイルス感染症の拡大によりキャンセルが増加、新規予約が減少。一転して、減収に。
- 費用面では、システム費用が減少。



■商社事業

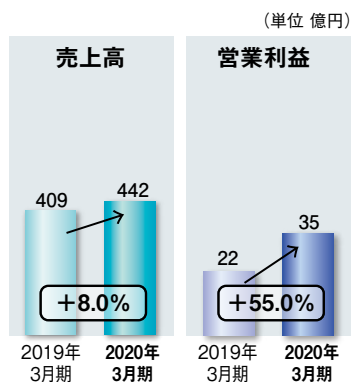
- 航空・電子部門で航空機部品等の取扱高が増加。
- 食品部門のナッツ類等の取扱高が減少。
- 特に第4四半期で空港免税店「ANA DUTY FREE SHOP」や空港物販店「ANA FESTA」の取扱高が減少。



■その他*

- 不動産関連事業では、サブリース取扱高の増加と保有物件の売却により増収。
- 建築設備事業では羽田空港ターミナルの設備改修や建築工事関連の収入が増加。

*不動産・ビルメンテナンス、航空保安警備、人材・ビジネスサポート、シンクタンク等の事業で構成。



■航空事業

国際線旅客

- 1月下旬より全方面で需要が減退し、旅客数・収入共に減少。
- 成田からパース線、チェンナイ線、ウラジオストク線を開設。
- 2月から3月にかけて71路線を対象に2,814便を運休・減便。

	前期	当期	増減率(%)
旅客収入 (億円)	6,515	6,139	△ 5.8
旅客数 (万人)	1,009	941	△ 6.7
座席キロ*1 (億席キロ)	659	688	4.4
旅客キロ*2 (億人キロ)	507	502	△ 1.1
利用率*3 (%)	77.0	72.9	△ 4.1

国内線旅客

- 2月下旬より需要が大幅に減退し、旅客数・収入共に減少。
- 路線便数の最適化や投入機材の調整でネットワークを効率化。
- 3月に42路線で2,674便を運休・減便。

	前期	当期	増減率(%)
旅客収入 (億円)	6,966	6,799	△ 2.4
旅客数 (万人)	4,432	4,291	△ 3.2
座席キロ*1 (億席キロ)	584	585	0.1
旅客キロ*2 (億人キロ)	407	395	△ 3.0
利用率*3 (%)	69.6	67.5	△ 2.1

貨物

- 日本発・海外発貨物共に需要が通期で低位に推移。2月以降の減便の影響も加わり輸送重量・収入共に減少。
- 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急物資輸送等に対応。

国際線貨物	前期	当期	増減率(%)
貨物収入 (億円)	1,250	1,026	△ 17.9
貨物輸送重量 (千トン)	913	866	△ 5.2
貨物トンキロ*4 (百万トンキロ)	4,318	4,222	△ 2.2
国内線貨物	前期	当期	増減率(%)
貨物収入 (億円)	274	255	△ 7.0
貨物輸送重量 (千トン)	393	373	△ 5.2
貨物トンキロ*4 (百万トンキロ)	408	387	△ 5.2

※決算に関する資料は当社ホームページでもご覧になれます。
<https://www.ana.co.jp/group/investors/>

ANAホールディングス 株主・投資家情報 検索

LCC

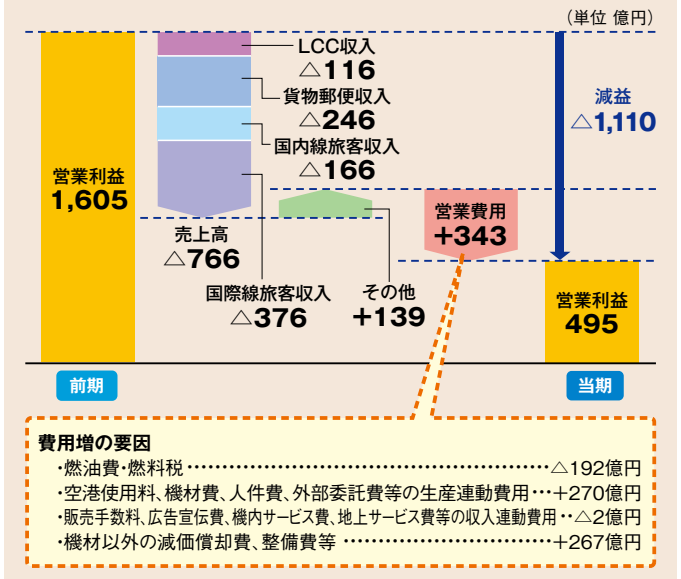
- 香港の市民デモ、日韓関係の悪化、新型コロナウイルス感染症の拡大により需要が大幅に減退し、旅客数・収入共に減少。
- Peachとバニラエアの事業統合を10月に完了。

	前期	当期	増減率(%)
LCC収入 (億円)	936	819	△ 12.5
旅客数 (万人)	815	728	△ 10.6
座席キロ*1 (億席キロ)	120	110	△ 8.1
旅客キロ*2 (億人キロ)	103	92	△ 11.5
利用率*3 (%)	86.2	83.1	△ 3.2

航空事業のその他

- 収入*5は2,257億円となり、前期から6.6%増加。

●航空事業の営業利益変動要因 (前期との比較)



※1 座席キロ=有効座席数×各区間距離(キロメートル)
 ※2 旅客キロ=旅客数×各区間距離(キロメートル)
 ※3 利用率=旅客キロ÷座席キロ
 ※4 貨物トンキロ=貨物輸送重量(トン)×各区間距離(キロメートル)
 ※5 マイレージ付帯収入、機内販売収入、受託整備収入等です。

●エアバスA380-800 (2機)

全幅79.8m・全長72.7m・全高24.1m
航続距離13,330km
座席数520席



●ボーイング787-10 (2機)

全幅60.1m・全長68.3m・全高17.0m
航続距離11,600km
座席数294席



●ボーイング767-300 (24機)

全幅47.6m (-300ERW 50.9m)・全長54.9m・全高15.9m
航続距離3,370km (-300ER 10,820km/10,030km)
座席数270席 (-300ERW 202席)



●ボーイング737-800 (39機)

全幅35.8m・全長39.5m・全高12.5m
航続距離3,900km
座席数166席



●ボンバルディアDHC8-400 (24機)

全幅28.4m・全長32.8m・全高8.3m
航続距離2,020km
座席数74席



●ボーイング777-300 (35機)

全幅60.9m (-300ER 64.8m)・全長73.9m・全高18.5m
航続距離3,800km (-300ER 14,900km)
座席数514席 (-300ER 212席/250席/264席)



●ボーイング787-9 (35機)

全幅60.1m・全長62.8m・全高17.0m
航続距離10,690km (14,960km/14,200km)
座席数395席 (215席/246席)



●エアバスA321ceo (4機)/neo (11機)

全幅35.8m・全長44.5m・全高11.8m
航続距離3,090km (neo 5,130km)
座席数194席 (neo 194席)



●ボーイング737-700 (8機)

全幅35.8m・全長33.6m・全高12.5m
航続距離4,900km
座席数120席/144席



●ボーイング777F (2機) (貨物専用機)

全幅64.8m・全長63.7m・全高18.6m
航続距離(最大積載時) 9,100km



●ボーイング777-200 (20機)

全幅60.9m・全長63.7m・全高18.5m
航続距離3,300km/3,800km (-200ER 14,500km)
座席数405席 (-200ER 392席/405席)



●ボーイング787-8 (36機)

全幅60.1m・全長56.7m・全高16.9m
航続距離4,890km (14,800km/14,740km/12,020km)
座席数335席 (169席/184席/240席)



●エアバスA320-200 (3機)/neo (11機)

全幅34.1m (neo 35.8m)・全長37.6m・
全高11.8m (neo 12.1m)
航続距離3,180km (neo 5,790km)
座席数180席 (neo 146席)



●ボーイング737-500 (3機)

全幅28.9m・全長31.0m・全高11.1m
航続距離2,780km
座席数126席



●ボーイング767-300F/300BCF (10機) (貨物専用機)

全幅47.6m (-300F/BCF) / 50.9m (-300FW)・
全長54.9m・全高15.9m
航続距離(最大積載時) 5,970km (-300F) /
5,750km (-300BCF) / 6,180km (-300FW)



ANAブランドの航空機 269機

※ほかに、当社が所有および賃借している航空機でグループ外へ賃貸している航空機が19機あります。
※航続距離は最新の性能データによるものです。

Peach ●エアバスA320-200型機 (38機)

全幅34.1m
全長37.6m
全高11.8m
航続距離6,100km
座席数180席



ESG経営の推進

ANAグループは、ESG※1に配慮した経営を推進し、持続的な成長を目指しています。ここでは、ANAグループが航空事業で進めているCO₂排出量削減に向けた取り組みについてご報告します。

※1: ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)のそれぞれの頭文字を取ったものです。

●航空業界でのCO₂排出量削減の動き

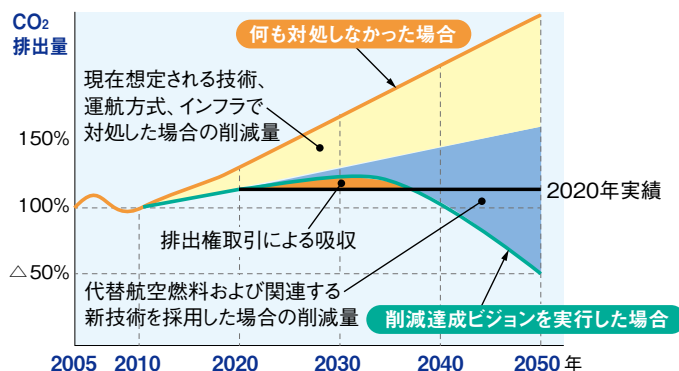
航空業界では、2016年にICAO(国際民間航空機関)により「2021年以降CO₂排出量の増加を伴わない国際航空の成長スキーム(CORSIA※2)」が採択され、CO₂削減の動きが加速しています。この動きの中でIATA(国際航空運送協会)は、右図のように2050年までのCO₂排出量削減達成ビジョンを策定しています。

※2: 増加したCO₂排出量を代替航空燃料(Sustainable Aviation Fuel=SAF)とCO₂排出権の購入等でオフセット(相殺)する手法。

●ANAグループのCO₂排出量削減に向けた取り組み

ANAグループでは、「**2050年に航空機の運航で発生するCO₂排出量を2005年比で50%削減する**」という長期目標を設定し、次の4つの施策によってこれを推進していきます。

2050年までのCO₂排出量削減達成ビジョン



出所: IATA資料を基に作成。

施策1 航空機の技術革新

- 燃費効率の良いボーイング787型機やエアバスA320型機、同A321neo型機をはじめとした低燃費機材を導入しています。
- 2020年3月末時点でグループの運航機材の約75%が低燃費機材となっています。



施策3 代替航空燃料の導入

- 植物油、糖、動物性脂肪、廃棄バイオマス等の持続可能な供給源から製造される代替航空燃料(SAF)は、現在の燃料に比べCO₂を抑制することができます。
- 2019年に米国ランザテック社とのSAF購入契約に合意。同年10月に新造機の空輸に使用するなどSAFの利用に取り組んでいます。



施策2 運航・整備面等の工夫

- 航空機の飛行方法の工夫により、燃費効率の改善に取り組んでいます。
- エンジンの定期的な洗浄で性能を回復させ試運転で使用する燃料を削減しています。
- 1席当たり20kg軽いシートの装着等機内備品の軽量化を進めています。



施策4 排出権取引制度の活用

- 2021年以降CO₂排出量を増やさないため、施策1～3に加えて排出権取引制度を活用していきます。
- これは、航空業界以外の業種で削減できたCO₂の排出枠を購入することによって地球全体でのCO₂排出量の削減につなげるというものです。



このほか、ANAグループでは「**2050年までに空港で使用する地上車両等が排出するCO₂をゼロ**」「**資源類の廃棄率をゼロ**」「**機内食の廃棄率を半減させる**」という目標も掲げております。

ANAホールディングス

●アバター事業を担う「avatarin株式会社」を設立

ANAホールディングスは4月1日、社会課題を解決するための遠隔操作ロボット「アバター」の事業化を推進するため「avatarin（アバターイン）株式会社」を設立しました。

■アバター「newme」の提供開始



avatarinは新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔でのコミュニケーションが必要とされる医療施設等に、独自に開発した普及型コミュニケーションアバター「newme（ニューミー）」の提供を開始しました。



医療施設に提供された普及型コミュニケーションアバター「newme」
写真提供：加賀市

■「newme」で沖縄美ら海水族館を見学

3月12日と13日、子どもたちを対象に「newme」の機能を使った沖縄美ら海水族館の遠隔見学会を行いました。子どもたちは瞬間移動して、自分たちがあたかも「水族館にいる」ような体験を楽しんでいました。



遠隔地から「newme」を操作して見学する子どもたち

「newme」を使って説明する
美ら海水族館のスタッフ

写真提供：国営沖縄記念公園（海洋博公園）
沖縄美ら海水族館

■ソニーAIと遠隔操作ロボットの開発協力で基本合意

avatarinは5月11日、ソニーグループのソニーAIと次世代の遠隔操作ロボットの開発に向けて協力していくことで基本合意しました。

医療用物資の製作に協力

ANAグループは医療用ガウンやフェイスガードの製作協力を通じて医療従事者の皆様のサポートに取り組んでいます。縫製会社ヴァレイの指導の下、同社が受注した医療用アイソレーションガウンのうち、約5万枚の製作工程の3割程度を、ANAグループのボランティア社員（職種・性別を問わず1日30人程度）が担当しています。また、トライキッツ社の医療用フェイスガード約5千個の製作にも協力しました。



医療用ガウンの縫製作業を行う
男性ボランティア社員



医療用フェイスガードの製作にも協力

機内サービス用の菓子や飲み物等を寄贈

ANAでは、大幅な減便が続いたため、機内サービスでご提供することができない菓子や飲み物等を、生活支援を必要とする方々に寄贈しました。5月15日、外国人留学生等を支援するNPO法人に、5月26日には公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通して、ひとり親家庭へ、合計51,780点のチョコレート、飲み物、カップ麺等をお届けしました。



生活支援を必要とされる方々にお届け



寄贈した機内サービス用の菓子や飲み物等

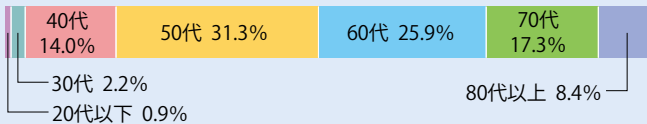
株主様アンケート結果のご報告

ANA VISION (2019年11月発行)で「株主様アンケート」(実施期間 2019年11月22日～2020年1月10日、インターネットを使用)にご協力をお願いしました。16,894名の方からご回答いただき(回答率3.4%)、ありがとうございました。

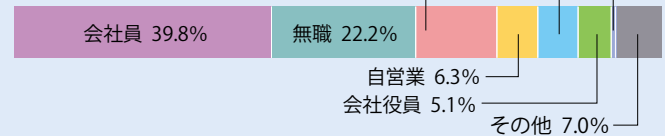
集計結果の一部をご紹介します。【ご回答いただいた株主様の中から抽選の結果、1,000名様にQUOカード(500円)を発送いたしました(2020年2月)。なお、当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代えさせていただきます。】

【回答された株主様のご年齢・ご職業】 回答数=16,894

株主様についてお答えください。(ご年齢)

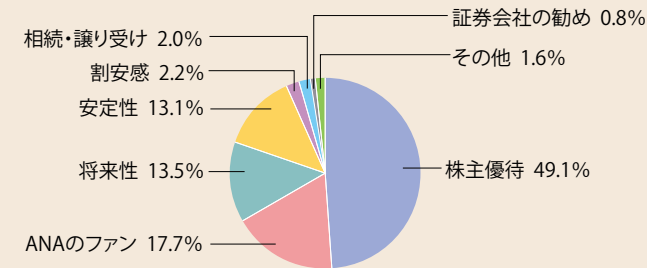


ご職業をお聞かせください。



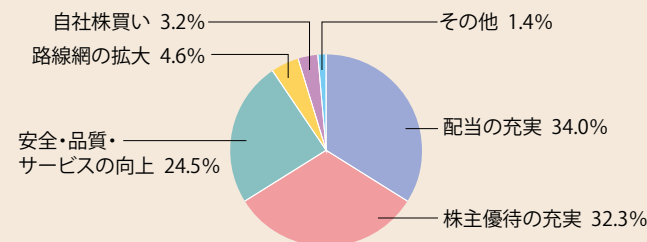
【当社株式の購入理由】(質問10) 回答数=16,894

当社株式をご購入された動機を1つだけお答えください。



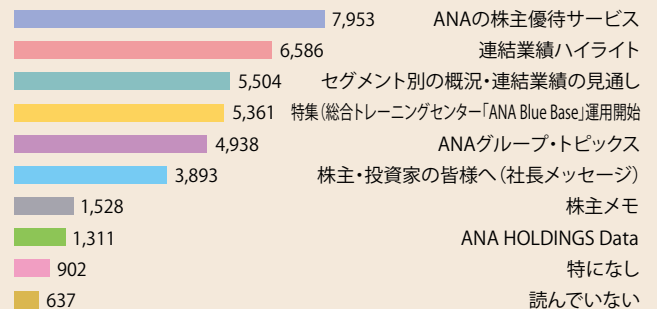
【当社への期待】(質問12) 回答数=16,894

当社に最も期待されることを1つだけお聞かせください。



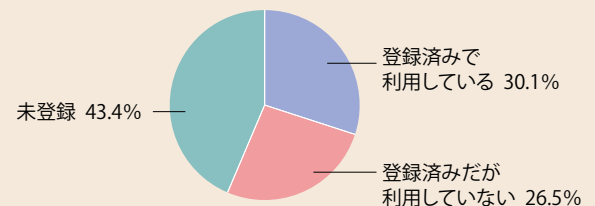
【ANA VISIONについて】(質問23) 回答数=38,613

当社の株主通信「ANA VISION 2019 第70期 第2四半期報告書」についてお伺いします。ご興味のある掲載記事をお聞かせください。(複数回答可)



【株主様専用について】(質問24) 回答数=16,894

「株主様専用サイト」の利用状況をお聞かせください。



ご回答いただきました内容を分析し、今後の株主様向けサービスの参考とさせていただきます。
その他の集計結果は本号の資料編でご覧いただけます。

ANAの株主優待サービス

ANAホールディングス株式会社では、ご所有株式数に応じて、「国内線ご搭乗優待」「ANAグループご優待」の株主優待サービスを実施しております。

株主優待発行基準

発行基準日※1	発送日	国内線ご搭乗優待	ANAグループご優待
3月31日	5月中旬	株主優待番号 ご案内書 有効期間6/1～翌年5/31※2	ANAグループ優待券 上期分 有効期間6/1～11/30
9月30日	11月中旬	株主優待番号 ご案内書 有効期間12/1～翌年11/30	ANAグループ優待券 下期分 有効期間12/1～翌年5/31

※1 株主優待発行基準日

※2 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別対応として、**2019年6月1日から2020年5月31日まで有効な株主優待番号につきましては、有効期間を2020年11月30日まで延長しております。**

- 新規に株式をご購入される方は、発行基準日を含め3営業日前までに証券会社でご購入手続きをお済ませください。
- 2020年11月中旬発送分は、**2020年9月28日(月)**が権利付最終日となります。
- 複数の証券会社をご利用の場合、届出住所と株主名が同一であれば、お一人の株主様として所有株式を合算(名寄せ)した上で取り扱いいたします。

ANAの株主優待サービス Q&A

Q 株主優待番号ご案内書はコードシェア便でも使えますか？

A ANA国内線運航便の他に、エア・ドゥ(ADO)、IBEXエアラインズ(IBX)、ソラシド エア(SNA)、スターフライヤー(SFJ)、オリエンタルエアブリッジ(ORC)が運航するANA便名のコードシェア便もご利用になれます。

Q 株主優待番号ご案内書の有効期間とは何ですか？

A 有効期間とは「ご搭乗可能期間」です。株主優待割引運賃をご利用の際には、ご搭乗日に有効な株主優待番号ご案内書が必要です。

Q 株主優待番号ご案内書は国際線に使えますか？

A 国際線のご搭乗にはご利用になれません。

インターネットからもご覧になれます。

ANAホールディングス 検索 → 株主・投資家情報 → 株式情報 → 株主 優待のご案内

国内線ご搭乗優待

100株以上ご所有の株主様に、ANAの国内線全路線でご利用になれる株主優待番号ご案内書をご所有株式数に応じて発行いたします。

ご案内書記載の株主優待番号1つにつき、ANAの国内線全路線の片道1区間が、「株主優待割引運賃」(ANA FLEX-D運賃の50%割引、小児※の場合は小児運賃の50%割引)でご利用になれます。

- ご予約・空席状況・運賃等に関しましては、予約・案内センターまたは、ANAウェブサイトにてご照会ください。

※搭乗日の年齢が満3歳～11歳のお子様を対象です。



ANAグループご優待

100株以上ご所有の株主様に、お一人様1冊、**ANAグループ優待券**を発行いたします。

■IHG・ANA・ホテルズグループジャパンのご優待

- ご宿泊料金(ベストフレキシブル料金(室料のみ)※)の20%割引券6枚)
- レストラン・バーご飲食代(10%割引券5枚)
- ご婚礼のご飲食代(10%割引券1枚)
- 会議・一般ご宴会室料(15%割引券1枚)
- ※ご予約日やご滞在の日程によって料金が変動するお得な宿泊料金です。

■国内・海外旅行パッケージツアー商品のご優待

- 国内ツアー・海外ツアー(5%割引券6枚)



株主優待番号ご案内書発行枚数表 (1枚未満の端数は切り捨て)

ご所有株式数	【発行基準日】 3月31日 有効期間 6/1から翌年5/31	【発行基準日】 9月30日 有効期間 12/1から翌年11/30
100株～199株	1枚	1枚
200株～299株	2枚	2枚
300株～399株	3枚	3枚
400株～999株	4枚+400株超過分 200株ごとに1枚	4枚+400株超過分 200株ごとに1枚
1,000株～99,999株	7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚	7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚
100,000株～	254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚	254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚

■空港内売店・免税店のご優待 (10%割引券5枚)



ANA FESTA



ANA DUTY FREE SHOP

■株主様限定 通信販売

下記の他、おすすめ商品を株主の皆様に特別価格にてご提供しております。詳しくは、2020年上期分の「ANAグループ優待券」をご覧ください。



■ゴルフプレー料金のご優待

- 「武蔵の杜カントリークラブ」(埼玉)(割引券4枚)
- 「早来カントリー倶楽部」(北海道)(割引券3枚)



武蔵の杜カントリークラブ

*ここに記載した「ANAグループ優待券」の内容は2020年上期発行のものであり、今後変更になることもございます。

ANA HOLDINGS Data

会社概要

2020年3月31日現在

商号	ANAホールディングス株式会社 ANA HOLDINGS INC.
設立	1952年12月
代表者	代表取締役社長 片野坂 真哉
本社所在地	東京都港区東新橋一丁目5番2号
資本金	3,187億8,942万6,788円
従業員数	185人 (グループ従業員数 45,849人)

株式の状況

2020年3月31日現在

発行可能株式総数	5億1,000万株
発行済株式総数	3億4,849万8,361株
株主数	519,317名(2019年9月末より23,730名増)

役員

2020年6月29日現在

取締役会長	伊東 信一郎
代表取締役社長	片野坂 真哉
代表取締役副社長 執行役員	伊東 裕
取締役 専務執行役員	高田 直人
取締役 常務執行役員	福澤 一郎
取締役	芝田 浩二
	平子 裕志
	山本 亜土(社外取締役)
	小林 いずみ(社外取締役)
常勤監査役	勝 栄二郎(社外取締役)
	加納 望(社外監査役)
	殿元 清司
	長峯 豊之
監査役	松尾 新吾(社外監査役)
	小川 英治(社外監査役)
上席執行役員	石坂 直人
	満倉 達彦
執行役員	宮田 千夏子
	中堀 公博
	石井 智二

株主メモ

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
■ 定時株主総会	毎年4月1日から3カ月以内に開催
■ 基準日	定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日 期末配当金受領確定日 毎年3月31日 ※中間配当金制度は採用していません。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 株主優待割当確定日 毎年3月31日および9月30日
■ 単元株式数	100株
■ 公告の方法	当社のホームページに掲載します。 ANAホールディングス 検索 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。
■ 証券コード	9202

■株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
■郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■電話照会先 (通話料無料)	 0120-782-031 (平日9:00～17:00/土・日・祝・12/31～1/3休)
■三井住友信託銀行 ホームページ	三井住友信託銀行証券代行部 検索

[株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会]

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引の証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用になっていない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

「株主様専用サイト」にご登録はお済みですか？

100株以上ご所有の株主様を
対象に、「株主様専用サイト」を
開設しています。ご登録いた
だきますと各種お知らせやおトク
な情報などをタイムリーにメール
配信いたします！

既にご登録されている株主様は、
改めてのご登録は不要です。

[illegible]

ANA 株主様専用サイト <https://sh.anahd.co.jp>

<https://sh.anahd.co.jp>

スマホはこちらから
ログイン



ANAホールディングス株式会社 <https://www.ana.co.jp/group/>

グループ総務部 株式チーム

〒105-7140 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター

電話03-6735-1001

〔受付時間〕 平日 10:00~12:00・13:00~15:00/土・日・祝・12/29~1/3・5/1 休

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、電話受付時間を短縮しております。詳細は当社ホームページをご確認ください。

ANAホールディングス

檢 索

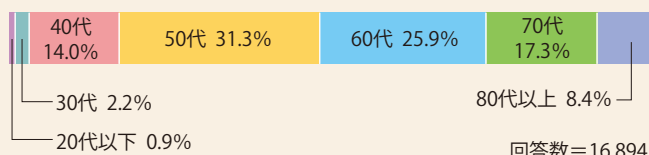


アンケート概要

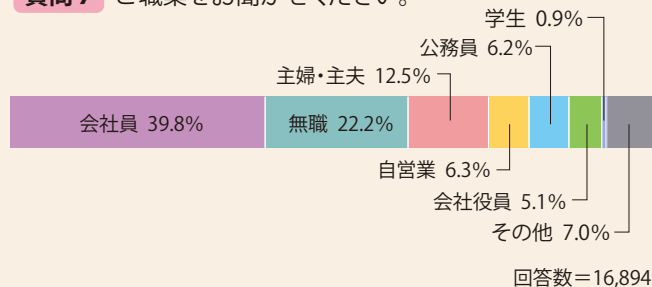
- 調査期間 2019年11月22日～2020年1月10日
- 調査会社 株式会社アイ・アール ジャパン
- 調査方法
 - 2019年9月末の株主様を対象にしたアンケート
 - 「ANA VISION (2019年11月発行)」を通じてアンケートに協力を依頼
- 回答方法 インターネット回答
(IRJ株主アンケートシステム「株主ひろば」を使用)
- 回答者数 16,894名
- 回答率 3.4%

【株主様について】

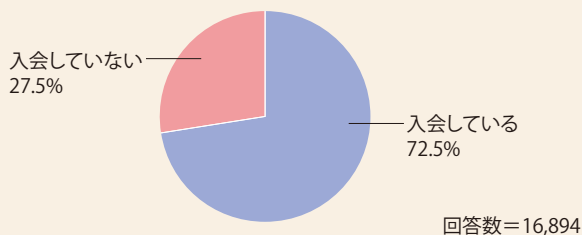
質問6 株主様についてお答えください。(ご年齢)



質問7 ご職業をお聞かせください。

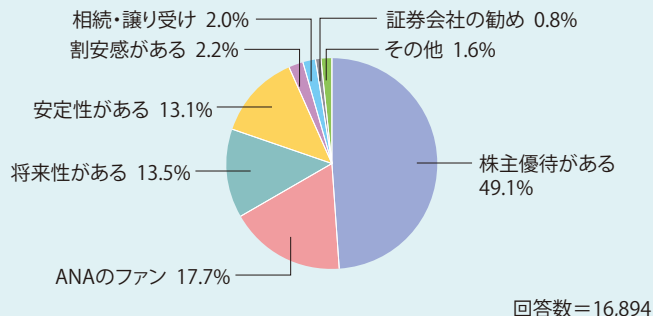


質問8 ANAマイレージクラブに加入していますか。

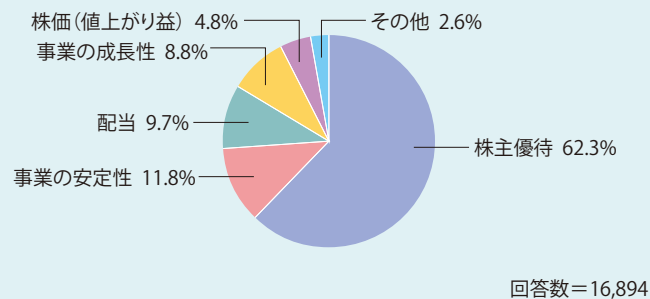


【当社株式について】

質問10 当社株式を購入された動機を1つだけお聞かせください。

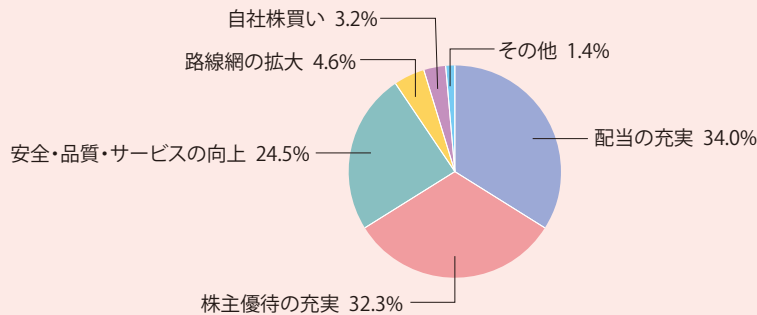


質問11 当社株式を保有されている理由を1つだけお聞かせください。



【当社に期待すること】

質問12 当社に最も期待されることを1つだけお聞かせください。



回答数=16,894

質問13 質問12で「その他」と回答した方へ、具体的にお聞かせください。(自由回答)

回答数=249

■ 株価・業績向上

- 事業の安定的な拡大を望みます。それにより利益が増大し、充実した株主還元が行われれば理想です。
- さらなる業績向上を望み、株価上昇をお願いします。

■ 株主優待

- 割引率の引き上げ(他の運賃<シニア空割等>の方が安い)。優待券使用方法の簡素化。搭乗時の優先搭乗。
- 以前募集があった株主様限定ハワイツアー第2弾を楽しみに待っています。

■ 従業員・サービス

- 社員に対する福利厚生や健康管理、安定雇用が結果として安全・品質・サービスの向上につながると考えます。
- 機体工場見学他、社内施設等の見学会の拡充(妥当な価格なら有料も可)。
- 私はANAをはじめとした航空機が大好きなので、株主限定航空機グッズがあればうれしい。

■ 路線

- 関西からハワイに定期的に運航してほしい。羽田や成田ばかりが、重要視されているように思う。

■ 運賃・価格

- 客はサービスに見合ったコストであるかを常に考えるので、LCCとANAの価格帯とサービスが順当か常に見直すべき。

■ 株式分割

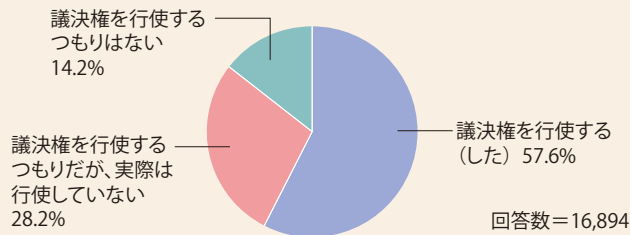
- 個人投資家が買いやすくするため、株式分割をして単元株の金額を下げてほしい。

■ その他

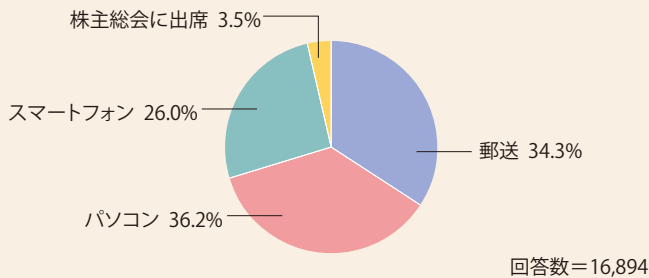
- ドローンやロボットを利用したサービス等新規事業への取り組み。
- 代替燃料開発等、すでに実績を積み上げていると思いますが、地球温暖化対策へのさらなる投資を期待します。

【議決権行使について】

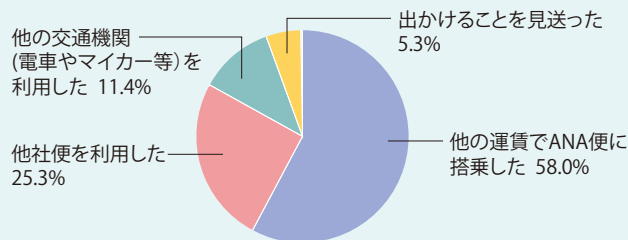
質問14 株主総会での議決権行使についてお聞かせください。



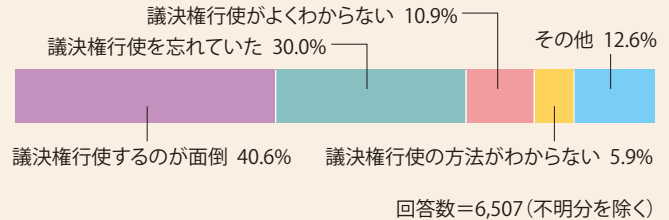
質問15 議決権を行使しやすい方法をお聞かせください。



質問18 質問17で「本人またはご家族、ご友人で全て利用している」または「本人またはご家族、ご友人で時々利用している」と回答した方にお聞きします。もしご搭乗優待がお手元になかった場合、どうされましたか。

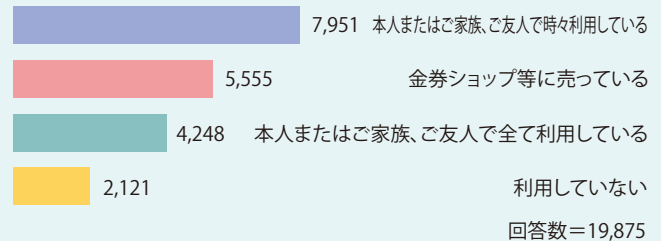


質問16 質問14で「議決権を行使するつもりだが、実際は行使していない」または「議決権を行使するつもりはない」とお答えになった方にお聞きします。議決権を行使されない理由を1つだけお聞かせください。

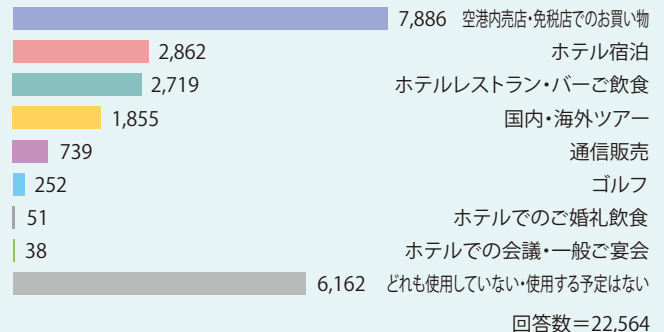


【株主優待サービスについて】

質問17 「国内線で搭乗優待」についてあてはまるものをお聞かせください。(複数回答可)

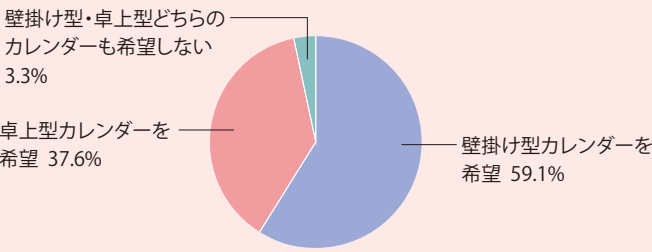


質問19 毎年5月と11月に送付しているANAグループ各社の割引券「ANAグループ優待券(冊子)」について、実際に使用した、または使用する予定のある優待をお聞かせください。(複数回答可)



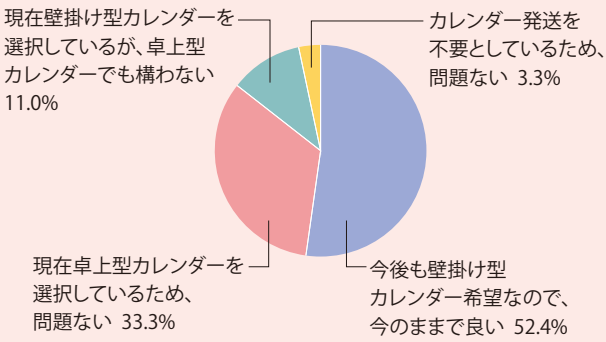
【株主様カレンダーについて】

質問20 毎年12月頃に送付している当社のカレンダーについて、今後の制作の参考にさせていただくため、お好みの種別をお聞かせください。



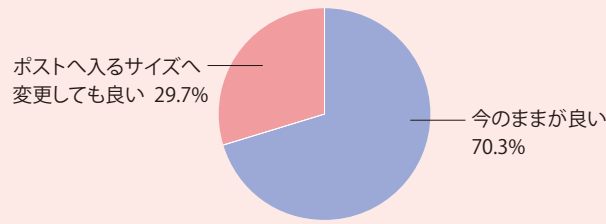
回答数=16,894

質問21 当社のカレンダーは壁掛け型カレンダーと卓上型カレンダーの2種類からお選びいただけますが、卓上型1種類にした場合のご意見をお聞かせください。



回答数=16,894

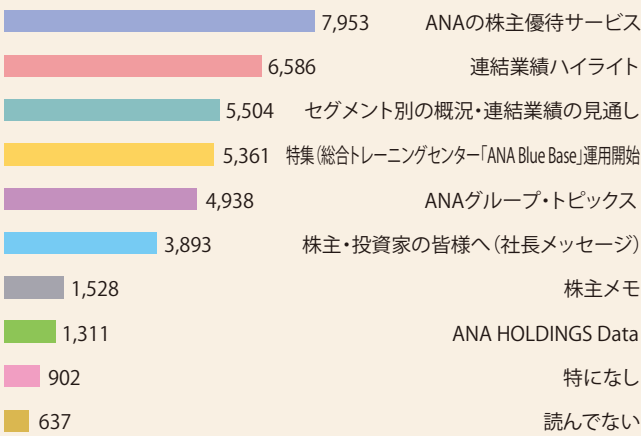
質問22 現在、壁掛け型カレンダーを選択されている方にお聞きします。当社の壁掛け型カレンダーのサイズ（縦：75.3cm×横：39cm）に関するご意見をお聞かせください。



回答数=11,473 (不明分を除く)

【ANA VISIONについて】

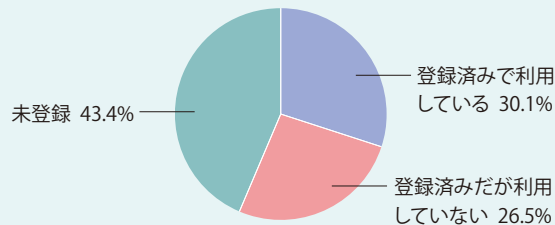
質問23 当社の株主通信「ANA VISION 2019 第70期 第2四半期報告書」についてお伺いします。ご興味のある掲載記事をお聞かせください。（複数回答可）



回答数=38,613

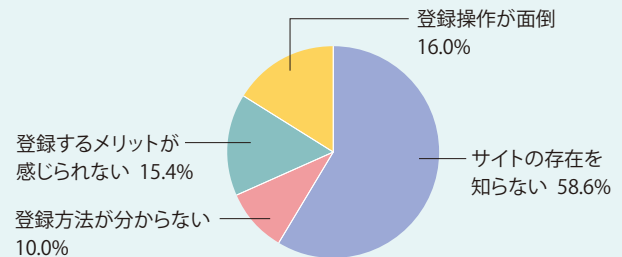
【株主様専用サイトについて】

質問24 「株主様専用サイト」の利用状況をお聞かせください。



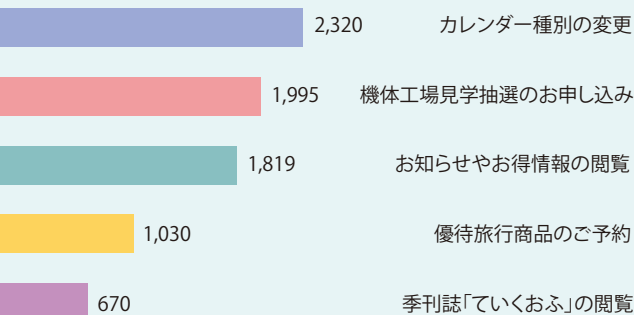
回答数＝16,894

質問26 質問24で「未登録」とお答えになった方にお聞きします。ご登録されない理由をお聞かせください。



回答数＝7,165 (不明分を除く)

質問25 質問24で「登録済みで利用している」と回答した方にお聞きします。「株主様専用サイト」内で閲覧・利用している機能をお聞かせください。(複数回答可)



回答数＝7,834 (不明分を除く)

「株主様専用サイト」へのご登録をお待ちしております

100株以上ご所有の株主様を対象に、「株主様専用サイト」を開設しています。

ご登録いただきますと各種お知らせやおトクな情報などをタイムリーにメール配信いたします。

ご登録はこちら

<https://sh.anahd.co.jp>

スマホは
こちらから

